

カトリック河原町教会だより

2016年2月

「四旬節」はじまる



「灰の式」を執り行う教皇フランシスコ
(2015年:ローマ・サビーナ教会で)

[写真:バチカン放送局HPより]

今年の「四旬節」は2月10日の「灰の水曜日」に始まり、3月24日の「主の晩さんの夕べのミサ」の前まで続きます。「旬」は「十」を、「四旬節」は「40日間」(復活祭までの主日を除く)を表します。

これは、イエスが40日間荒野で断食したことに由来し、わたしたちは回心・祈り・断食を通して、「過越の秘義」への準備の期間として過ごすようすすめられています。

初日にあたる「灰の水曜日」には、司祭が聖水をかけて灰を祝福し、「あなたは塵であり、塵にかえっていくのです」と唱えながら、灰で額に十字の印をする「灰の式」が行われます。

(編集委員)

～「灰の式」～

*2月10日(水)6:30と18:30のミサで行われます。

司祭職について

京都南部地区協力司祭 村上 透磨 神父

『キリストの祭司職へ招かれているわたしたち』(聖書講座シリーズ10・京都司教区聖書委員会、2012年)の序文にわたしは次のように書いています。

神学校時代、「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ」(ヨハネ15・16)とイエスが言われたことから、召命が神のみ旨によるものだと自覚させられました。そして、司祭は「もうひとりのキリスト」になるのだと繰り返し励まされ、「司祭はキリストの代理者となる」ことの偉大さを教えられました。代理者とは、「そこにキリストを現存させる者」、「キリストを現す者」という意味です。司祭はパンとぶどう酒を聖別するとき、「これはわたしの体、わたしの血である」と言います。また、罪をゆるすとき、「わたしはあなたの罪をゆるします」と言います。そのとき司祭はキリストと一体になっているのです。そのような司祭であっても、ペトロやマグダラのマリアのように、神の憐れみとゆるしによって選ばれた者だと気づかされます。

やがて司祭は、キリストの奉仕者、苦しむ神の僕として、キリストに倣う者であり、ご自分を無化されるキリストを身に帯びる者であることを知るようになります(フィリピ2・5～11)。アルスの聖ヴィアンネは、「地上で司祭がいかなる者かを知るなら死んでしまいます。それは恐れではなく、愛のゆえに」、また「神は司祭に従います。司祭がひと言唱え

ると、天から下り、ホスチアの中に入ります」と言いました。

これは、ミサを一度でもささげることができたら、もう死んでもいいと思われるほど、司祭は偉大な主のみわざに参与しているということです。このように司祭は、「もう一人のキリスト」と呼ばれ、また「神の僕」でもあるのです。それは、まさにあの「マグニフィカト」を歌われるマリアの心境なのです(ルカ1・46～55)。

この本の序文と本文を読んでいただければ、司祭職の何たるかをお分かりいただけると思います。

ある日曜日のミサで、わたしがパンを取り「これはわたしの体」と申しあげる時キリストになってくださるのだと思った時、「ああ、わたしはキリストとひとつだ。一度司祭の務めを果たさせていただいたら、もう死んでもいい」と思わずつぶやいたことがあります。その時ある方が「神父様、死なないでね」と言ってくださいました。わたしはその優しい気持ちも受け取りました。司祭はキリストに代わって、「これはわたしの体、これはわたしの血」と言うのですね。司祭は、「神は父と子と聖霊の御名によって、わたしはあなたをゆるします」と言うのですね。こんな聖なる身分にさせていただいてよろしいのでしょうかね…。

ああ、主よ、わたしを憐れんでください。



村上透磨神父司祭叙階**金祝**おめでとうございます～主の慈しみをとこしえに歌い～

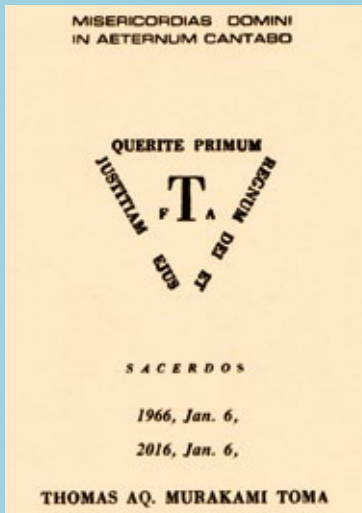
[写真提供:京都教区広報委員会]

あわれみの 我を包みて 50年
慈しみの神 われを離れず
ユビレオ(聖年)の年を迎えてユクンドウム
(喜ぶべきこと)

主の慈しみ 消ゆることなし
いつくしみ 我を包みて とこしえに
祝い歌うを 嬉しと思う ～透磨～



村上透磨神父 金祝記念の御絵



この**金祝記念カード**は、50年前の司祭叙階式のカードと同じで、金祝の日付だけを加えたものです。

神様がわたしに、「はなむけの言葉」としてくださったのは、「主の慈しみをとこしえに歌い」(詩編89・2)だと思いました。この詩編がわたしの心を強く打ったのは、副助祭の式中でした。その時、あの姦通の女が主の憐れみに出会った時の喜びが分かったような気がし、わたしの司祭職の原点をここに置くべきだと思いました。「主の慈しみをとこしえに歌い、主のまことを代々に告げよう」。それが、**MISERICORDIAS DOMINI IN...**という言葉です。

両親はわたしを次の言葉で育ててくれました。父は「神の国とその義を求めよ」(**QUERITE PRIMUM...**)、母は「仰せのごとく我になれかし」(**FIAT**)でした。**QUERITE PRIMUM...**は正三角形、それは父と子と聖霊を表します。真ん中の**FTA**は**FIAT**と十字架です。それが司祭(**SACERDOS**)を生み出します。そして、十字架の側にはマリアとヨハネ(わたし)も立っています。十字架と下に向かっている三角形は、愛によってご自身を無化するほど与え尽くしてください、神の憐れみの愛を示しています。

もう一面の絵ですが、叙階式の時の御絵の中で、これが面白いと選んでいただきました。わたしとしては、神の創造のみわざを思います。闇に光をもたらす父と子と聖霊です。塵にすぎなかったわたしがこのような恵みに満たされていること、神は全て、わたしは無、神は愛であり命なのだ、と感謝して生きていくことだと思っています。(村上透磨神父)

- から河原町教会で開催予定⑥ **キリシタン** 研究会 2月11日予定の「日本26聖人記念ミサ」のチラシを作成、配布を開始した。⑦ **ザビエル訪れ会** 12月には5軒を訪問。1月から「クリスマスマス市民の集い」アンケート回答者・約40名を対象に訪問開始予定。2月7日 定例会開催予定
- 施設管理部** ① 1月31日に教会美化デーで聖堂正面上の照明の清掃を行う。② 2月8日に「いつくしみの特別聖年の扉」の飾りを一旦取り外す。
- 広報部**
- 3月に教会ホームページアドレスの変更を予定
- 行事予定**
- 四ページの行事予定欄に記載
- 協議事項**
- (1) 新役員と部会責任者の確認
- (2) 役員会は毎月第3土曜日9時30分から開催の予定。評議会開催は毎月、行事予定に従って開催する。
- (3) 教会総会(1月24日)について役割を分担確認した。
- (4) 次回ブロック会議において、共同宣教司牧の長期・短期目標を提案する。
- その他
- (1) 四旬節に関する準備内容を確認
- (2) 「いつくしみの特別聖年」関連事項
- ・当教会への巡礼者の受け入れ態勢の準備が必要
- ・特別聖年行事として巡礼等を企画する。
- (3) 2017年の新聖堂建立50周年行事を要検討
- (4) ぶどうの会責任者が3名体制となり、評議会への出席は3名交代となることが了承された。

2015年クリスマス～恵みのうちに～

クリスマス市民の集い
12.24



チャリティーコンサート
12.13



☆ 24日「クリスマス市民の集い」の募金73,000円は、「京都新聞歳末ふれあい募金」に送らせていただきました。
☆ 13日のクリスマスチャリティーコンサートの収益金 299,875円は、ノートルダム教育修道女会を通して、全額ネパール大地震復興支援として送られました。ご協力ありがとうございました。

2016年度 教会役員と部会責任者の紹介

“ご協力 よろしくお願ひします“

各部会責任者

部会	部長	副部長
典礼部	岡田 亨	杉本 誠一郎
教育部	奥埜 さと子	中野 博彦
財務部	越知 謙之助	倉狩 弘美
施設管理部	栗山 准	松谷 博幸
広報部	神藤 牧	嶋崎 晴信

河原町教会役員



岩田 啓子
(財務部新任)



駒井 茂一
(広報部留任)



北村 進
(教育部留任)



ハビエル・ピタリ
(典礼部留任)



松本 一美
(施設管理部新任)

河原町教会一月評議会報告要約

開催日 二〇一六年一月十日(日)

■司祭団の報告

- ① 3月に大塚乾隆神学生の助祭叙階式が予定されている。
- ② 1月23日の村上透磨神父司祭叙階金祝ミサにご協力ください。
- ③ 2月11日のフィリピン宣教25周年感謝ミサへの協力をお願いします。

■報告事項

- ① 主の降誕10時30分のミサでの侍者確保が難しかった。平日の特別ミサの侍者については今後の対応を課題とする。
- ② 「クリスマス市民の集い」の参加者は約650名、アンケート回答者も多かった。

■部会報告

典礼部 ① いくしみの特別聖年開幕ミサとクリスマスは無事終了、ご協力に感謝 ② 今年度の主日午後受付担当者は、従来通り1名で計画作成。不都合な場合は申し出てください。

財務部 ① 2016年度活動予定を確認 ② 財務部委員1名退会、2名新部員を任命した。③ 2015年度予算実施状況と2016年度予算案を当評議会にて報告

教育部 ① 土曜学校 12月12日の終業式・クリスマス会は無事終了。1月9日3学期始業式から初聖体と堅信に向けて勉強を開始 ② 中高生会 1月17日始業式予定 ③ 青年12月26日「青年のためのミサ」参加者は河原町教会からの参加者は約20名で計約60名で行われた。ワールドユースデーへの参加者を募集中 ④ 信徒養成「洛東ブロック四旬節黙想会」2月27日(土)指導 鈴木信一神父(聖パウロ会)を予定 ⑤ 洛東ブロック合同教育部会 次回は3月6日14時

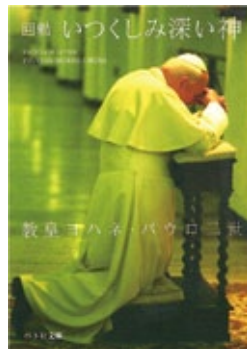
◆ 2016年2月・3月の行事予定 ◆
(3月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜	行 事 予 定
	7	日	評議会2月例会 10:30ミサ後
	10	水	「灰の水曜日」(大斎・小斎) 四旬節愛の献金(四旬節中)
2	11	木	フィリピン宣教会日本宣教25周年記念感謝ミサ 10:30 日本26 聖人殉教者記念ミサ 14:00 (西陣教会) 世界病者の日
	14	日	洗礼志願式 10:30ミサ
	27	土	洛東ブロック四旬節黙想会 10:00~16:00
	5	土	大塚乾隆神学生助祭叙階式 11:00
	6	日	評議会3月例会 10:30ミサ後
	13	日	一場神父 モンロイ神父霊名のお祝い 10:30ミサ
	19	土	北村善朗神父司祭叙階銀祝ミサ 11:00
	20	日	「受難の主日」(枝の主日) 世界青年の日
3	23	水	聖香油ミサ 11:00
	24	木	「聖木曜日」主の晩さん ミサ 19:00
	25	金	「聖金曜日」主の受難 (大斎・小斎) 19:00 聖地のための献金
	26	土	「聖土曜日」(大安息日)「復活の主日」復活の聖なる徹夜祭 19:00
	27	日	「復活の主日」日中のミサ7:00・10:30 / ミサ後親睦パーティー
	29	火	~31日 教区小学生侍者合宿
	31	木	侍者合宿「神のいつくしみの特別聖年」ミサ 11:00

◆ お薦めの一冊 ◆

教皇ヨハネ・パウロ二世回勅
『いつくしみ深い神』

(カトリック中央協議会 2015.12.8 発行 /ペトロ文庫¥625)
聖書に表現された「いつくしみ」の概念を考察しキリストの復活の秘義にこそ、その完全な啓示があることを再認識する回勅。
「いつくしみの特別聖年」にあたり、じっくりと読んでみてはいかがでしょうか。



*一場神父の洛東ブロック信徒養成講座(第1水曜日 19:00)でも解説が始まりました。(編集委員)

洛東ブロック主催 四旬節黙想会 2016年2月27日(土)
10:00~16:00

テーマ「いつくしみの特別聖年における四旬節の心構え」

指導司祭：鈴木 信一神父 (聖パウロ会管区長)

*場所：河原町教会聖堂 *持ち物：聖書・筆記用具



[プログラム]

10:00~10:50	第1講話	13:00~13:50	第2講話
11:00~12:00	個人黙想	14:00~15:00	個人黙想
12:00~13:00	昼食(各自)	15:00~16:00	ミサ

* 個人黙想の間にゆるしの秘跡が受けられます。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

* 英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00(第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修神父 (1F)

19:00(第1・祝休) 一場 修神父 (1F)

木曜日 15:00(祝休) 一場 修神父 (1・3F)

金曜日 15:00 シスター 庄子 (3F)

19:15 村上 透磨神父 (1F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】

第1水曜日 19:00~20:00 一場 修神父

【山科教会】

毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】

毎火曜日 10:00ミサ後~11:30 一場神父

【桃山教会】

第1・2・4金曜日 19:30~20:30 一場神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

2月18日(木) 14:00

※3月は休講です。

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月/第3火曜日 10:30

※福音の分かち合いです。どなたでもどうぞ。

